



世界の人に出会い、心が動く体験から、 どんな人も、自分自身も大切にできる人間になる！



グローバル化、AI 化が進む将来、子どもたちに、自分自身にどんな力が必要になるでしょうか。「英語が必須？」「留学をさせればいい？」「具体的に何をしたら、、、？」とお思いの方もいらっしゃるのではないでしょうか。

海外に、簡単に行き来ができる昨今、相手の価値観を認めることができる人間力をベースとした「話せる力」の必要性が高まっています。

ヒッポファミリークラブでは、英語はもちろん、多言語習得(いろいろな、ことば)を通して、世代・文化・言語の境なく**多様性**にあふれる体験の中で、楽しく話せる！話したくなる！を大切に家族や仲間と言葉の環境を身近に作り活動しています。(全国 700 ヲ所、海外にもアメリカ、メキシコ、韓国、台湾など活動拠点は世界に広がっています。)



自分らしく何語でも伝えられる

異文化への好奇心とボーダレスな心

自ら考え体験を通して得られる自己肯定



多言語を学ぶ意味

大和田康之

在米国際基督教大学財団理事
/LEX America理事

私がこれから担う真のリーダーシップについて必要だと思うのは「多言語を話す」というスタンスです。多言語を話すということは、「違ったことば、価値観を持った人を自分の中に受け入れる」ということ、「寛容」ということです。それは自分が人間としてより豊かになることです。

ヒッポではまず相手の母語を大切にしようというスタンスで多言語を育んでいます。そんな世界が広がっていくことに、ことばを学ぶことの本質的な意味があるのではないでしょうか。



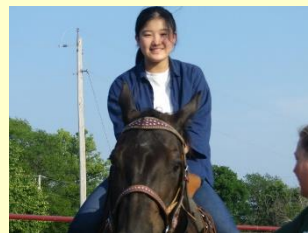
多世代の仲間と、多様性にあふれる体験の中で、いろいろな国のことばを楽しみます。



インドネシアのゲスト受け入れ、
日本文化は大人気



初めての台湾ホームステイ！ (小5)



中学生が1ヶ月のアメリカホームステイ



250 以上のことばをもつ
アフリカでのホームステイ

※希望すれば、だれでもホームステイ体験が可能
年間 1,500 名が約 30 の国や地域へ。
海外から 120 カ国、約 5,000 名が日本へ。

ワークショップ&講座当日プログラムは

世界のことばを聞いて
口に出して言ってみよう！



はじめてのことばを口に出す
ってどんな感じかな？

世界の音楽に合わせて
ゲームをしよう♪



大人も子どももいっしょに
たのしめるよ

世界で体験した楽しい
お話聞いてみよう！



LMP(LEX Multilingual presentation)

ヒッポで育っている若者が
自分の体験を元に3つ以上の
言語でメッセージを発信
する多言語プレゼンテー
ションの会が大好評
(東京国際フォーラムにて)



多言語 TOPIC

- 東京大学 酒井邦嘉教授(言語脳科学)
- MIT スザンヌフリン教授(多言語獲得研究)
- ヒッポファミリークラブ(多言語活動実践)
- との「多言語活動・多言語人間に対する共同研究」が継続中！(Yahoo!ニュース掲載)



- BS 朝日で放送されました
- 「世界のことばが我が家に！
～多言語に触れる～」
- 2018年9月24日にヒッポ
の活動が紹介されました。